

TAMS 61488 HP-IB Card

(Windows 2000, XP 対応)

2006.05

現在お使いのコンピュータの機能を TAMS 61488 HP-IB (IEEE488.2) インターフェースボードが飛躍的に拡張します。

TAMS 61488 仕様:

- 高性能 HP-IB インターフェース
- 3.3V と 5V の PCI slot をサポート
- Windows2000/XP で稼動
- SICL と完全互換
Agilent I/O Library E2094M 以降.
- IEEE488.2 標準の準拠
- サポート言語:
HTBasic for Windows 又は C
- 専用ハイインピーダンスケーブル使用



PCI IEEE-488.2 for Windows2000/XP

I/O パフォーマンスのよさは、機器をコントロールする時重要なポイントです。コンピュータは、機器に対し常に待ちの状態にあります。その逆はありません。TAMS61488 使用している機器が必要としている速さで操作することができます。

ハードウェアのなかにソフトウェアの機能を移動することによって、また小トランザクションのパフォーマンスを改善することに重きを置くことによって 61488 は現実面でパフォーマンスの改善をしています。

GPIB のパフォーマンスの特徴を出すとかいろいろな種類の操作で誤りが出るように単数字を使用してみます。実際のパフォーマンスに影響する多くの要因は、(1)転送されているデータの量(2)データブロックのサイズ(3)読み込みスピードと書き出しスピードの違い(4)使用するプログラミング言語(5)使用されるコンピュータ等にあります。結果として、最大転送レートを決定付けるベースとなるのか推奨できません。とはいえ業界標準として規格化された最大 I/O スピードに準拠するために、TAMS61488 は 1MB/s を超えることのできるスペックとなっています。さらに、TAMS 社でのテストでは、小トランザクションの扱いにおいて旧製品 TAMS60488 に比べ、TAMS61488 は 4.5 倍の早さでした。

TAMS61488 は、PCI 又は PCI-X スロット 3.3V と 5V での完全 PCI 準拠の製品です。そしてスループットの最も高い実行レベルが使用できます。このカードは、33、66、100 または 133MHz で規格化されており、信号は 32 ビットまたは 64 ビットでどの組み合わせでも稼動します。

SICL あるいは VISA ラブラリーと HTBasic for Windows 又は C 言語を使用することによって、お客様のプログラムは完全なパフォーマンスで実行されるでしょう。

注)

- Agilent I/O Libraries for Windows は 61488 についていません。HTBasic for Windows の 9.3 以前には、含まれていますので HTBasic で 61488 をお使いになる場合は購入する必要はありません。9.4 では含まれておりませんので別途入手する必要があります)
- SC モード、同時複数枚使用対応可 (HTBasic9.x)